

望郷亭後続総合プロジェクトに関する構想

1. 本公園は地理的には：東経 116 度 21 分 43 秒~116 度 28 分 12 秒，北緯 39 度 57 分 52 秒~40 度 02 分 11 秒に位置している。
2. 気候は大陸性季節風の吹く温暖地帯にあり、年間平均気温 11.6℃，年間降雨量は約 630 mm，其の内の約 70%が 7-8 月份に集中している。土壌は多くが褐色土又は暗褐色の土壌で、表土の堆積は顕著ではない。
3. 本公園の総面積は 200 km²余りで，園内の最高峰は 210 m，植生の覆蓋率は 95%以上に達する。なお休閒樹林は檜（*Platycladus orientalis*）を主とする松柏林、及びスモークトリー（*Cotinus coggygria*）を主とする紅葉林、並びにこの両者と其の他の野生の灌木との混合林よりなっており、それは北京西郊外に位置する山岳部の休閒樹林を典型的に代表している。
4. 公園内に新設された西環状道路は全長 2003 m，路面幅 3 m で，海拔 85 m から 175 m に跨っている。
5. 公園によれば、まず望郷亭周辺の立地環境の改善から着手するよう計画しているとのことである。樹木の品種をより良くし、又新設された道路から望郷亭までの歩道を直し、階段を設ける等の項目がこの内に含まれている。
6. この他、2007 年年末に公園は新しく開通された道路の両側に 1000 を越える穴を掘り終えており、2008 年の春を待つて既に大きく成長している苗木を移植する予定である。そうすることにより望郷亭に通じる道筋付近の景色がより美しくなり、望郷亭に遊ぶ条件もより一層整うであろう。夏の日差しの中でも木陰を見つけることが容易で、このため人々はいつでも望郷亭の見学が可能となる。